

48 回生 合格体験記

兵庫県立大学理学部

私は高校に入学してからソフトボールに力を注いできました。その分勉強がおろそかになってしまい不安でした。だから、引退後にすぐに受験勉強を始めました。具体的には過去の問題を用いて小論文対策をしたり、多くの先生方をお願いして朝と放課後に毎日面接練習を行ったりして徐々に力をつけていきました。

試験当日は「今までやってきたことをやるだけだ」という気持ちで一切緊張しませんでした。私が受験した兵庫県立大学理学部の入試科目は、面接(口頭試問)と小論文でした。どちらも化学について問われる内容でした。合格した時は「これで大学に行ける」という安心感と、「大学で学ぶ内容についていけるのだろうか」という不安が入り交ざっていました。

私はなんとか受験準備が間に合いましたが、もっと早めに勉強していて損はないと思います。受験はつらく厳しいですが、より良い未来のために頑張ってください。

兵庫県立大学看護学部

私が受験した兵庫県立大学看護学部の学校推薦型入試の受験教科は、英文資料読解を含む小論文と面接でした。まずは自分の意見をしっかり述べられるようにするために 6 月頃から新聞やインターネットで気になった医療分野の記事要約し、考察する練習をしました。8 月頃からは志望大学の過去問だけでなく、他の国公立大学の過去問も解き、どんなジャンルの問題にも対応できるようにしました。面接練習ではたくさんの先生と友人に頼み、予想外の質問をされた時にも冷静に答えられる対応力を身につけました。

入試当日はとても緊張しましたが、これまで地道に努力してきたことを思い出しながら全力で試験に挑みました。合格したと知った時は嬉しさ、安心感とともに解放感で心がいっぱいになりました。小論文も面接も練習すればするだけ自分の実力、自信につながります。早めに受験対策を始めて入試当日に実力を発揮できるように頑張ってください。

京都産業大学文化学部

僕は京都産業大学文化学部を学校推薦型選抜の総合評価型で受験しました。この方式は2教科の学科テストと内申点等の出願書類によって審査されます。学科テストは国語と英語で受験しました。国語はとにかく過去問を繰り返し解いてください。僕も過去問に取り組み始めた頃は半分ほどしか取れなかったのですが、対策した結果、本番では8割近く取れました。英語に関しては文法問題の割合が高いので、文法書を一冊仕上げて挑んでください。長文問題は配点が高いので見直しを徹底してミスをなくすように心がけてください。

試験当日は早めに会場に到着して勉強時間を確保しました。緊張していましたが友達と話したり参考書を見たりして気持ちを落ち着かせるようにしていました。一生懸命努力してきた分、合格を知った時は安心感と達成感で胸がいっぱいになりました。

京都産業大学経営学部

私は京都産業大学経営学部を専門学科等対象公募推薦方式で受験しました。入試科目は小論文と個人面接でした。受験対策として、小論文は何度も先生に添削してもらい、面接は先生に練習してもらっただけでなく、友達に面接官になってもらって練習するなど数をこなすようにしました。

試験当日は今までにはないくらい緊張していました。自分の力を出し切ったつもりですがあまり手応えがなく、ただ合格を信じるのみでした。合格した時は嬉しさより驚きの方が強く、すぐには実感がわきませんでした。しかし、今までの努力の積み重ねが報われたのだととても嬉しくなりました。

2年次の今の時期は、まだ本気で勉強する気が起きない人は多いと思います。そんな時には放課後に残ったり、図書館に行ったりして勉強するしかない環境作りをしていくことが大事だと思います。第1志望の大学合格に向けて頑張ってください。

関西外国語大学外国語学部

私が受験した関西外国語大学外国語学部の試験科目はリスニングを含む英語でした。部活動を引退した6月頃から単語帳と熟語帳、文法の参考書を細かいところまで勉強し演習問題を最低でも一日一つ解くようにして読解力や速読力を上げるのを目標に対策しました。

入試当日は人の多さに圧倒されて緊張しましたが、「大丈夫」と自分に言い聞かせていました。合格が決まった時は、頑張ってきたよかったと思いました。

受験への焦りから平日は4~5時間、休日は多い日で10時間ほど勉強していたこともあり精神的にも体力的にも限界を超えていました。暗記ができず辛くなることもありましたが、焦りをなくすために一番効果的だったのが勉強で積み上げた時間だったと思います。また、心に余裕を持ち過ぎないようにすることも大切だと思います。最後まで諦めないで頑張ってください！

女子美術大学芸術部

私は女子美術大学芸術学部の、受験科目が面接と実技だけの総合型選抜方式を受験しました。デッサンや作品制作と並行して面接で何を聞かれても良いように隙間時間を使って面接対策をしていました。

入試当日は緊張と不安でいっぱいでしたが、試験官の方が気さくな人ばかりでリラックスして試験を受けられた記憶があります。合格した時は私の思いを認めてもらえた気がしてとても嬉しかったです。首都圏で新たに一人暮らしをすることに少し不安を感じていますが、世界で活躍されている方や能力の高い人たちと同じキャンパスで学べるという期待の方が大きいです。

私自身、学科テストの勉強をあまりしておらず受験対策について言えることはあまりないのですが、無理し過ぎず休息をとることも大事だと思います。私自身そうすることで集中力が高まり疲れやストレスが減ったと感じました。皆さんが素敵な将来を送れることを願っています。

神戸女子短期大学幼児教育学科

私は神戸女子短期大学幼児教育学科を総合型選抜方式で受験しました。一次試験は自己推薦書で、二次試験は面接でした。どちらも先生に添削していただき、何度も文章を手直しました。そして、面接練習も本番を想定して緊張感をもって臨み、どんな質問でも答えられるように準備しました。入試当日は今までで一番緊張していましたが、面接官にしっかりと自分をアピールすることだけを考えていました。面接が終わった後は不安でいっぱいでしたが、合格通知が届いた時は行きたかった大学に通えるんだという喜びがあふれてきました。大学に進学すると勉強量が増えたり、実習が大変だったり心配はありますが、これまで積み重ねてきた努力を支えにして頑張っていこうと思っています。

受験科目に面接がある場合、どれだけ自分をアピールできるかが大切なので、部活動やボランティア活動、検定、資格の取得などたくさんの方に挑戦しておいたら良いと思います。

神戸ベルェベル美容学校

私が選択した受験方式はフラッグシップ入試というもので、面接に加えグループディスカッション（集団討論）を行う試験でした。入試当日に向けての取り組みとして、放課後や休み時間に多くの先生方に面接練習をしていただき、アドバイスしてもらっていました。また、同じ入試方式で受験する友人と討論しながら意見交換をするなどの対策もしました。特に、面接練習中に先生に言ってもらった「いつも通りに話していても失礼に感じない」という一言に勇気もらい、入試当日は自分らしさを発揮しようと程よい緊張感を持って臨むことができました。合格発表までは少し不安もありましたが、合格が決まった時は達成感が大きく、本当に嬉しかったです。

普段から目上の方への話し言葉に気をつけ規則正しい生活を送ろうと心がけていれば、緊張する入試の場でも心に余裕ができ、自分が持っている本来の力を出せると思います。

ネスレ日本株式会社

私が受けたネスレ株式会社の入社方式は筆記試験と面接でした。筆記では基礎レベルの問題が出題されました。面接では部活動や学校生活について聞かれました。筆記対策として、就職試験の問題集を購入してそれを何度も解いて頭に叩き込みました。また、面接は、不安がなくなるまで何度も練習しました。その甲斐あって試験当日は今までやってきたことを信じていたのであまり緊張せずに受けることができました。内定をもらった時はこれまでの努力の成果が出たことがとても嬉しかったです。

後輩へのアドバイスは、今のうちから早めに努力を積み重ねておけば、本番での緊張が薄まると思いますのでおすすめです。面接ではコミュニケーション能力が重要になるので鍛えましょう。

小林電工株式会社

私はもともと公務員を目指していましたが、公務員試験が不調に終わり、そこから就職希望に切り替えました。他の就職希望者よりも遅れて就職活動を始めたので焦りがありましたが、先に就職試験を受けた友達に面接での質問内容や注意点を聞くことができたのは良かったです。入社試験では面接の他に一般常識のテストがありました。準備時間があまりなかったため、まんべんなく勉強するのではなく、思想など分からない分野や不得意な分野を重点的に勉強しました。試験当日、家を出るまでは緊張していましたが、会社に着いてからは落ち着いていました。面接が5分で終了し、手応えが全くなかったため合否がでるまで不安でした。無事内定をもらえたときは、嬉しさよりも開放感の方が大きかったです。

後輩の皆さんへのアドバイスは、優先順位を決めて休みながら頑張ることです。がむしゃらに頑張っても頭に入らなかったり精神的に辛くなったりしてくるので、適度に休憩することが大切だと思います。